

ジェイアールバス東北本部

第29号

2021年3月16日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一

編集：情宣部

申8号「2021年度賃金引上げ等に関する 申し入れ」について趣旨説明を行う!!

組合

- ・ 厳しい経営状況を受け止め、コロナ禍で大きく変化する情勢を踏まえ事業継続と雇用の維持を最優先に、労使で議論を積み重ねていくことが重要である。
- ・ コロナ禍のなか安全・安定的な業務を遂行し、車内消毒をはじめ「感染しない・させない」取り組みなど組合員・社員は、家庭でも努力を続けている。
- ・ 2月13日の地震による新幹線代替輸送では、全社員が助勤や休日出勤に協力し事故や大きなトラブルもなく約10日間の運行を完遂してきた。
- ・ 古川営業所・秋田支店の業務移管やダイヤの見直しなど、組合員・社員は、様々な葛藤のなか会社の経営状況を考え向き合ってきた。
- ・ 組合員・社員の奮闘が、コロナ禍のなかにおいても利益を生み出している現状は変わらない。
- ・ 期末手当が減り生活が厳しい。コロナ終息を見据え、労働力の価値を評価し「人への投資」を行うべきである。
- ・ 物価上昇、消費税増税のなか、生活を向上するためにベースアップは必要である。
- ・ 同一労働・同一賃金の観点から格差是正のため北東北の契約社員の基本日額を仙台地区と同等に引き上げるべきである。また、人材確保・定着のため契約社員の希望者をバス社員に登用するべきである。
- ・ 人口減少、少子高齢化社会のなか、安定した雇用と生活、技術継承を行うため55歳以降の定期昇給を実施し、65歳定年制を導入すること。
- ・ バス東北として今年度もベアゼロ回答であれば4年連続となり、この間の物価上昇や消費税増税等で生活が苦しくなっている。経営状況が厳しいのは承知しているが、コロナ終息を見据え組合員・社員のモチベーションを上げ、人材流出を防ぐためにもベアは必要である。

会社

- ・ 現段階では、まだ議論をしていないので何も申し上げられないが、これから議論していく。
- ・ 社員のモチベーションや将来への希望というのは良く理解している。それをどのような形で還元出来るかを賃金だけではなく相対的に考え検討していく。
- ・ 契約社員については、北東北・南東北といった区分けではなくジェイアールバス東北会社全体を見ていかななくてはならない。同一労働・同一賃金という認識は持っている。継続的に何か施策を行っていくことも検討している。今後も議論はしていく。

全組合員一丸となり、春闘勝利に向け職場からたたかいをつくり出そう!!